

広島大学 (前期日程)

欄に記入し  
点記入  
素はない

素点番号  
素 点

I

II

III

平成三十一年度  
入学試験問題  
解答用紙

国 語

国語総合・現代文B・古典B

第一問

問一

a 崩壊(崩潰) b 猶予 c 考究 d 徐々 e 示唆

問二

学校は社会のなかにあるにすぎない (以上二十字)

問三

子供の自発性を手助けする (以上十五字)

問四

1 人々の共有作法 (以上十字)

2 人類と日本人が作り上げてきた共有作法についての歴史  
的展望を得ようとする学問 (以上四十字)

問五

学校は社会的動物たる人間の活力を涵養する場だが、その活力の源泉である  
人としての総合性・貫性・誠実性の形成は、徳育を離れた知育や体育の場面に  
おいても教師が自ら人格的な姿を子供に示すことで行われるはずだから。

問六

教師による知育の実践は無効であるが、徳育と  
はそれに絶望する姿を通して、人生の困難に打ち勝つた  
人の孤獨な決断と努力の重要性を示すことができるとい  
うこと (以上八十字)

問七

前に述べたことをより詳細に掘り下げたり部分的に留保  
したりするものが持つ逆説性をその文体により示唆してい  
る (以上八十字)

第二問

問一

① ウ ② イ ③ ア ④ エ

問二

1 I 妹背山は紀の国にあるが、吉野川をはこむ二つの山を「妹山」「背山」と呼んでいること。  
II 茶屋からたくさんのお花が、見渡される場所を「一目千本」と名付けていること。

2

i 風流人  
ii 愚かな者

3  

ず	古
眼	典
前	的
の	知
景	識
色	を
を	前
そ	提
の	と
ま	し
ま	て
名	を
と	し
つ	け
た	の
の	か
か	い
と	い
う	そ
こ	の
と	よ
。	う
	に
	せ

(以上五十字)

問三 『延喜式』に載る「吉野山口神社」と言うほどの神社とも思われぬ。

問四 来れば

問五 1 まだその時期になていないのだろう

2 盛り過ぎたらん

(以上十字)

時	の	立
期	花	春
は	か	か
変	り	ら
わ	を	六
る	見	十
の	は	五
で	年	日
	ご	野
明	と	山
確	の	へ
に	気	行
予	温	く
測	や	と
で	天	ち
き	候	よ
な	に	う
い	よ	ど
と	の	よ
い	て	い
う	桜	と
結	の	人
論	盛	々
	り	は
	の	伊
		勢

第三問

問六

問一 a かつ b と c およそ d けだし e のみ

問二 A ア B ウ

問三 曹家の財産はまだ兄弟間で分配されたことはなく、今兄弟の子一人に占有されています。

問四 竟 欲<sub>下</sub>置<sub>二</sub>孤 法<sub>一</sub> 并 得<sub>中</sub>以 中<sub>中</sub>守

問五  

孤之叔	孤が受け継ぐはずの曹家の財産を自分のものにしたかったから。
叔之子	父の訴えが通うなかつたので、恥じて激怒し、孤を逆恨みしたから。
達魯花赤	不仲だった郡守の劉を陥れるために孤の事件を利用しようとしたから。

問六 エ  

問七	ア
----	---

問八 劉信甫はあらかじめ孤を避難させ、人を殺したのは自分だと偽証して罪をかぶった。一方、達魯花赤に賄賂を贈って孤が無関係であることを認めさせ、自らは死罪を逃れた。出獄後、朝廷に陳情して達魯花赤の罪を暴き、郡守を復職させることで事件を解決した。